

授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ○ 問題意識を持たせる | ○ 自分との関わりで考えさせる |
| ○ 多面的・多角的に考えさせる | ○ 自己の生き方について考えさせる |

小学校4年生 A-(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任 「ドッジボール」のポイント

<ねらい> 人に左右されないで、正しいと判断したことは自信を持って行おうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に・・・

① <問題意識を持たせる>

- ・ 友達が絶対間違っているということを言っているとき、正しいことを言うか、言わないかを問い、本時の課題に対する問題意識を持たせる。

② <多面的・多角的に考えさせる>

- ・ 主人公の明だけでなく、クラスみんながすっきりしない気持ちだったのは、どんなことを考えていたかを問い、それぞれの立場から多面的・多角的に考えさせる。

(発問) ○みんなが、なんとなくすっきりしない気持ちのまま教室に戻ったとき、みんなはどんなことを考えていたのだろう。

③ <自分との関わりで考えさせる>

- ・ 自分がこのクラスの一員だったら・・・という視点で、明のように言えるかどうかを問い、自分との関わりで考えさせる。

(発問) ○あなたがクラスの一員だったら、明のように言えますか。それはどうしてですか。

④ <多面的・多角的に考えさせる>

- ・ 明のように正しいと思ったことを言えると答えた児童にも、言えないと答えた児童にも、お互いの理由を共有(他者理解・人間理解)することで、多面的・多角的に考えさせる。

⑤ <自己の生き方について考えさせる>

- ・ 振り返りの場面で、導入場面での自分の考えを比較させる視点を与える。
- ・ 正しいと思ったことを行うために大切なことについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方についての考えを深めさせる。

展開

終末